

「2015 国際ロボット展」トピックス

(平成 27 年 12 月 2 日から 5 日、東京ビッグサイト)

本学より 3 つのテーマを展示いたしました。

(RT 交流プラザ)

- 1・山梨大学 野田研究室 低重心型平行二輪ビークル
 - 2・山梨大学 寺田研究室 歩行リハビリ支援ロボット KAI-R
- (農林水産省ロボット技術開発実証事業)
- 3・モモシンクイガ検査システム (主担当研究者: 小谷、寺田)

「モモシンクイガ検査システム」につきましては農林水産省から資金提供を受け、県農政部と共に開発中の物で大変期待されております。元農林水産大臣の林芳正氏も熱心に質問されておりました。なお、添付した写真は、この検査システムに利用されている「桃ハンドリングアーム」の部分拡大したものです。



農林水産省ロボット技術開発実証事業

モモシンクイガ検査システム

日本農業の
活性化・輸出振興
「モモシンクイガ検査システム」
「PM」日本産桃は、世界中に輸出される。しかし、桃の輸送中に発生する「モモシンクイガ」の被害は、輸出の妨げとなっている。本システムは、桃の輸送中に発生する「モモシンクイガ」の被害を、高精度で検出・除去する。これにより、桃の品質を維持し、輸出を促進する。また、本システムは、桃の輸送中に発生する「モモシンクイガ」の被害を、高精度で検出・除去する。これにより、桃の品質を維持し、輸出を促進する。

2015年11月18日(水)～11月20日(金)
アグリビジネス展A-11「2015 Agribusiness Creation Fair 2015」
2015 INNOVATION INTERNATIONAL EXHIBITION 2015
2015年11月18日(水)～11月20日(金) 16:00～17:00

100%の検出率そして100%の品質維持を実現



■ 02: イベント情報 (2件)

【開催予定イベント】

◇◆1/27 農商工連携マッチングフェア ◆◇

主催：山梨県商工会連合会・県下商工会

山梨県商工会連合会・県下商工会は、県内の中小企業支援機関及びJAと連携し、中小企業者や農林漁業者等が互いの経営資源や地域資源を活用して開発した商品等の商談や販路開拓、取り組みの紹介を中心とした「農商工連携マッチングフェア」を開催します。

○本フェアの目的と特徴

1. 山梨県の中小企業者や農林漁業者等が開発した商品等を一堂に会し、展示・紹介し、商談等に結びつける。
2. ビジネスパートナーとのマッチングを行い、新たな商品の開発や取り組みを促進する。
3. 会場内にバイヤー及びバイヤー経験者等による「個別商談会」コーナーを設置し、自社商品を直接バイヤー等に売り込む事ができる機会を設ける。(1事業所・20分間の商談 要申込)
4. 農商工連携・地域資源活用・新連携・6次産業化など国等の施策の紹介や相談に対応するコーナーを設置し、農商工等連携・6次産業化などの活動を促進する。

○日時：平成28年1月27日(水) 13:30～

○場所：甲府富士屋ホテル

〒400-0073 山梨県甲府市湯村 3-2-30 TEL 055-253-8111

○当日のスケジュール

13:30～14:00 開会セレモニー

14:00～17:00 マッチングフェア

○山梨商工会連合会のHP 「農商工連携マッチングフェア」サイト

URL:http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/info/H27_matching.html

【連続市民講座】

◇◆12/19 連続市民公開講座のご案内

第8回「iPS細胞とは何か ～細胞の初期化とは～」 ◆◇

山梨大学は今年度も読売新聞甲府支局と共催し「地を識る～知の拠点から～」と題した全10回の連続市民講座を開催しています。

人の身体は、もとは一つの受精卵から作られます。一つの受精卵は数を60兆個に増し、さらに心臓や神経、肝臓、眼など、200種類以上の細胞に専門化(機能分化)していきます。同じ遺伝子をもった細胞が、機能分化する過程では、エピジェネティクス(遺伝情報であるDNAの塩基配列の変化をとまなわず、遺伝子が制御される現象)の作用が働いているといわれています。iPS細胞は、この機能分化後の細胞に起こったエピジェネティックな変化を元に戻したものです。いわば、iPS細胞はあらゆる細胞へと分化する力を取り戻した「若返った細胞」です。この若返りのことを「初期化」とよんでいます。この講座では、iPS細胞をやさしく説明します。

【講師】 生命環境学部 教授 黒澤 尋

【実施日】 平成27年12月19日(土)

【会場】 山梨大学 甲府東キャンパスA2-21教室(キャンパスマップ)

【時 間】 午後 1 : 3 0 ~ 3 : 0 0 まで (午後 1 : 0 0 開場)

【定 員】 3 3 0 人

【受講料】 無料

【申込方法】 申込が無くても聴講は可能です。

【問い合わせ先】

電話 : 055-220-8044 (もしくは 8043) F A X : 055-220-8796

電子メール : koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

【連続市民講座 URL】

http://www4.yamanashi.ac.jp/modules/extension_courses/index.php?content_id=2

□ ■

■ 03: プレス情報

◆ 山梨大学大村智記念基金を創設しました。

本学は、かねてより大村先生には、名誉顧問としてのお立場から、大学運営に関するご指導ご助言を賜り、かつ、教育研究活動への多大なるご支援をいただいていたまいりましたが、このたびのご受賞を機に、先生に続く次世代の若手研究者等の育成を推進するとともに、末永く先生のご功績を顕彰するため、新たに『山梨大学大村智記念基金』を創設することといたしました。

本基金は、先生が並々ならぬ情熱を注いでおられます人材育成に資するため、本学の学生の奨学金として使用させていただくほか、先生ゆかりの貴重な品々の展示を行うとともに、本学の学生・教職員・同窓生はもとより、地域の皆様方も集える場として、先生のご芳名を冠した『大村記念ホール(仮称)』を建設するなどの事業への活用を考えております。

つきましては、本事業には何分にも多大な資金を必要といたしますことから、本趣意をご理解いただき、卒業生をはじめ、広く地域、財界その他諸方面の皆様方には、ぜひともお力添えを賜りたく、伏してお願い申し上げます。

本学では、不断の改革を進めるため、今後も学内外から広くご意見を求め、より一層の教育研究の質の向上に努めてまいりますことをお誓い申し上げ、お願いのご挨拶とさせていただきます。

◎ 「山梨大学大村智記念基金」

http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/page/2015/omura_fund.pdf

◎ 「大村 智先生 ニュース」サイトを開設いたしました。

<http://www.yamanashi.ac.jp/news-omura/>

◎ 「大村 智先生 ノーベル医学・生理学受賞記念特別展」を開催中

詳細はこちら → <http://www.yamanashi.ac.jp/event/post-2314/>

◆ 山梨大学 COC セミナー

11/13 「農業の 6 次産業化～地域と協働する山梨大学～」が開催されました。

「農業の 6 次産業化～地域と協働する山梨大学～」をテーマに、山梨大学 COC セミナーを山梨県立図書館において、11/13 開催しました。セミナーには自治体や金融機関の職員、農業生産者など、約 90 名の参加がありました。

話題提供となる講演は、支援機関の立場から山梨県中小企業団体中央会地域開発課長の古屋 浩昭氏、農業法人の立場からペイザナ農事組合法人代表理事 小山田幸紀氏、支援プランナーの立場から kanae フードビジネス研究所代表 芦澤香苗氏が農業の 6 次産業化への取組みの現状、支援策、課題などを実例を交えて講演しました。続いてのシンポジウムでは、柳田藤寿教授(本学生命環境学域)をコ

ーディネータとし、古屋氏、小山田氏、芦沢氏に加え、ピーチ専科ヤマシタ代表 山下 一公氏の 4 名がシンポジストとなり、農業の 6 次産業化への期待、可能性、今後の展望などについて活発に意見を述べ合いました。また、参加者からも多くの意見や質問が寄せられました。さらに、参加者アンケートでは、約 9 割の方が「農業の 6 次産業化、地域の活性化に関心を持った」との結果となりました。

□ ■

■04: 公募情報

公募に関する応募等のご相談がございましたら、ぜひご連絡ください！！

◆【公募予告】

平成 28 年度「医療機器開発推進研究事業」に係る公募（1 次公募）について

●公募概要

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、AMED）では、平成 28 年度「医療機器開発推進研究事業」を実施（受託）する機関を 12 月中旬から公募します。本事業は、革新的医療機器の創出に向けた非臨床研究や臨床研究や医師主導治験等を行い、企業への導出につながる成果を出すことを目標としています。これにより、より効率性が高く安全な医療技術の実現を図ります。詳細はリンク先で確認下さい。

※リンク先 <http://www.amed.go.jp/koubo/020120151207.html>

●対象者

本事業は、機関を対象として公募し、国内の大学、研究機関、法人が応募できます。

※詳細については、公募開始後、公募要領をご覧ください。

●公募期間（予定）

12 月中旬～1 月中旬

●説明会

12 月 22 日（火）13 時～15 時に、東京で開催を予定しています。

説明会の詳細が決まりましたら、参加申し込み方法とともに、AMED ホームページでお知らせいたします。

●お問い合わせ先

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 7 番 1 号 読売新聞ビル 23 階
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 産学連携部医療機器研究課
医療機器開発推進研究事業担当

□ ■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
 - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。
-